

そんな中、急展開を見せた“庄原市内の夜の交通事情”と 庄原の危機

- ▶ これまで、旧庄原市内（庄原市中心地）を走っていた夜のタクシー運行が「0」となった。 ※R6.5.26～ 全日
- ▶ 主な原因は、
 - ・ドライバーの高齢化と人員不足
 - ・収支
 - ・お客のマナーの悪化 <最後のきっかけは、これ>
- ▶ この影響による主な問題は、
 - ➡ 夜間営業の飲食店への客足の低下
 - ➡ 売上低下による、中小零細事業者の経営圧迫
 - ➡ 市域経済の悪化（経済規模の縮小）
 - ➡ 人流の低下・喪失
 - ➡ 活気喪失やマイナス思考増進による「負の循環」の形成
 - ➡ 病院への夜間外来者における「移動手段」の喪失
 - ➡ 「安心して暮らせる」ことへの不安増大（人口減少への加速）

※左記記事：R6.6.15（土）中国新聞朝刊 P22 県北欄より

県北

2024年(令和6年)6月15日(土曜日) 北 22

庄原夜間タクシーゼロ

運転手不足 飲食店や病院不安



庄原市内で、午後8時から翌朝にかけて走るタクシーがなくなった。市内3社のうち最後まで走り回っていた1社が運転手不足のためやむなく夜間の運行を「休止」に。夜に営業する飲食店や利用客は不便さを訴え、急患を受け入れる市中心部の病院も患者の利便性低下に不安を抱いている。

（桜井邦彦、朝日新聞）

5月下旬、午後7時、翌朝7時の運行を休止したのが新調運輸の「りぼんタクシー」。これまでは運転手3人が月11曜日にローテーションで午前0時ごろまで走らせていたが、夜間乗車できる人がゼロに。朝から夕方

の営業は継続している。同社によると、夜の勤務ができる運転手を1年にわたって求めたが応募はなく、松田尚人社長は「何とか維持したかったが、苦渋の決断」と話す。今後について、運転手が3人そろえば再び

開を検討するという。市内の残る2社の営業時間は庄原中央タクシーが午前7時から午後8時、石田タクシーは午前8時半から午後6時（土日は午前7時から）。両社とも新型コロナウイルス禍での外出自粛に伴い二ス

が減り、夜間は撤退した。庄原中央タクシーは「需要はあるが、運転手が足りないのでは元に戻せない」と訴える。

夜のタクシー不在に對し、中本町で飲食店を経営する50代男性は「お客さんが飲みに出るハードルが上がった。家族に迎えに来てもらったり、仲間内でハンドルキーパーを決めたりと工夫している」と説明。「過疎化も重なり、雇手が年々厳しくなっている」と胸の内を明かす。

市中心部にある庄原赤十字病院では、救急車で来た患者が入院にはあらず、タクシーで帰宅することになる傾向がある。夜間の交通手段がなくなると、患者に影響が出る可能性はあるという。

こうした事態を深刻に受け止める庄原商工会議所の佐々木満吉会長は「このままでは地域の衰退が加速してしまう。官民一体となって対応する必要がある」とし、打開策を探る考えだ。

庄原の暮らしをいかに便利にするか、これが私たちの使命です。

古美術きとや

庄原市千代田 0854-42-2291

危機的状況への対応策の検討（日本初の試み）



▶ 国土交通省

「令和6年度 共創・MaaS実証プロジェクト」の活用
（国の補助金事業）

▶ 法制度の柔軟化により、取組みが可能となった

➡「道路運送法第4条（通称：4条ぶら下がり）」

▶ 国が進める「都会版ライドシェア」とは一線を画すもの

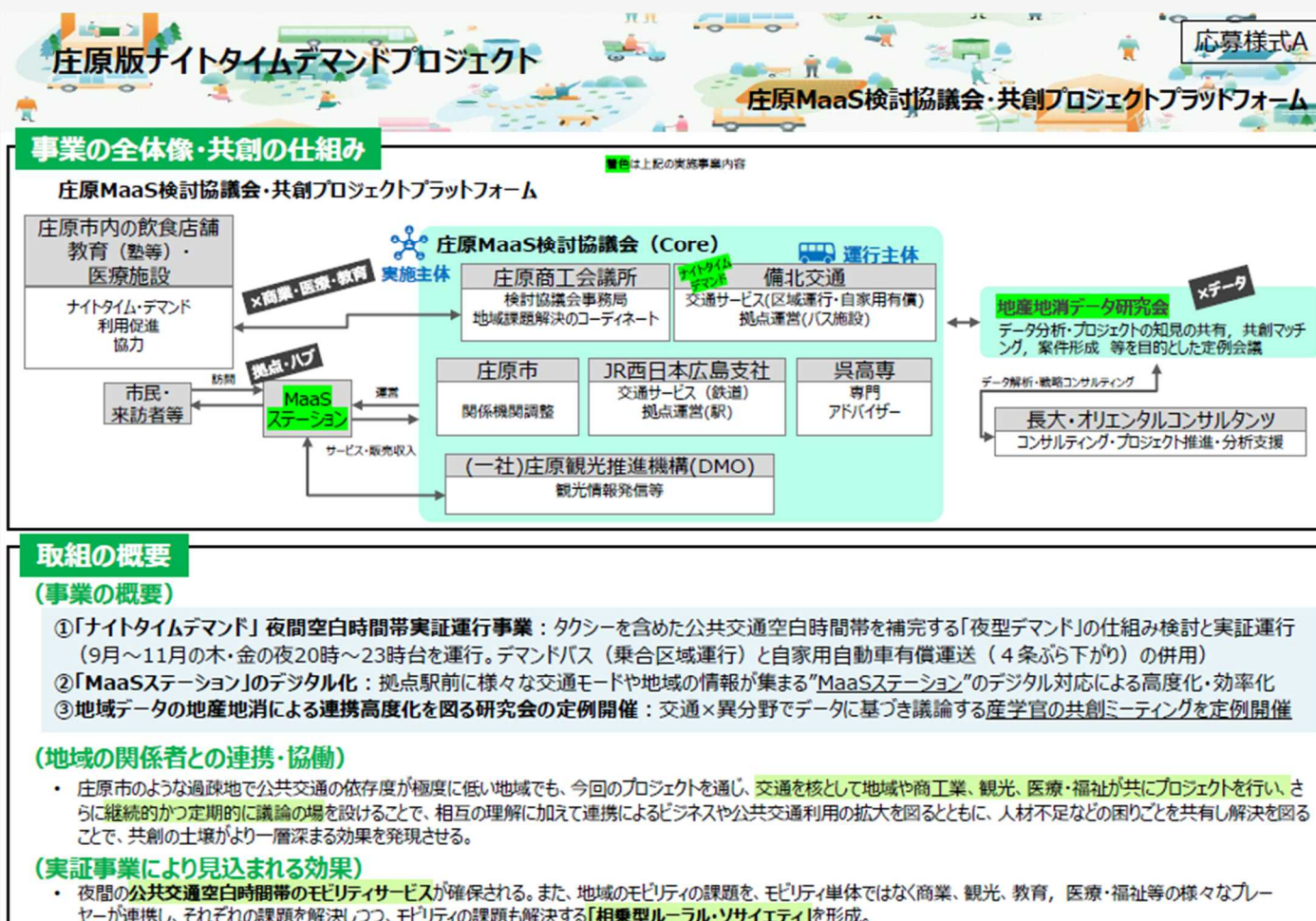
▶ この取り組みのポイントは、

「相互扶助」と「持続型ビジネスモデル」の両立

▶ タクシーではなく、デマンドバスの運行方法を試行

▶ タクシー事業者が補えない部分・時間帯を補完するものであり、タクシー事業者との競合については配慮

— 事業用ロゴマーク —



全国初 の制度活用 となる「4条ぶら下がり」とは？



▶ 道路運送法第78条第2号に基づく登録

自家用有償旅客運送

(市町村やNPO法人等が主体となり、
登録を受けて運行)

○交通空白地有償運送

○福祉有償運送

○自家用有償観光旅客等運送

公共ライドシェア
【平成18年制度創設】

▶ 道路運送法第78条第3号に基づく登録

4条乗用事業による管理

➡ 日本版ライドシェア (令和6年3月 制度創設)

4条乗合事業 (区域運行) による管理



(令和5年12月 制度創設)



・夜間オンデマンドバス「よるくる」の実証運行（1）

- ・ 運行期間：R6.9.19（木）～R6.12.13（金）の間の
木曜日と金曜日 «全26日間の運行»
- ・ 運行時間：20：00～23：00位まで（予約の状況による）
 - ▶ 予約可能時間
 - ① 平日：9：00～17：00
 - ② 当日：電話予約は22：00、web予約は22:30まで。
- ※ 運行の40分前までの予約が必要。
- ▶ 便数は5便で「20：00発」「20：40発」「21：20発」「22：00発」
「22：40発」で設定（原則）。
- ・ 運行範囲：旧庄原市内の地区
- ・ 運行方式：当初は「優先方面運行」
 - ※ 途中から「フルデマンド運行」となる。
- ・ 運賃：距離に応じて設定された「500円～3,000円」の500円刻み。

MaaS 庄原
【庄原版】 ナイトタイム・デマンドプロジェクト
— オンデマンドバス —
よるくる
YORUKURU

庄原の夜のタクシーがない時間の、そのお悩みを少しでも緩和するため
期間限定でお試し運行開始します！
【2024年9月19日～12月13日の木曜・金曜運行】

STEP 01 ご希望の乗降場所、乗車時間を予約
STEP 02 指定の乗降場所まで乗車
STEP 03 指定の乗降場所から乗車

予約はこちら ☎ **0824-74-6464** 【受付】 平日9時～17時、土曜・日曜は22:00まで
※ 予約状況によってはご利用いただけない場合がございます。

料金は（お1人様）500円～3,000円の500円刻み ※お1人様につき乗車できる人数は10名です。

対象エリア

- 庄原中心部から 本村・峰田 エリア
- 庄原中心部から 川北・瀬川 エリア
- 庄原中心部から 山内・七瀬 エリア
- 庄原中心部から 高・糸末・小用 エリア
- 庄原中心部から 板倉・美濃 エリア

運行日

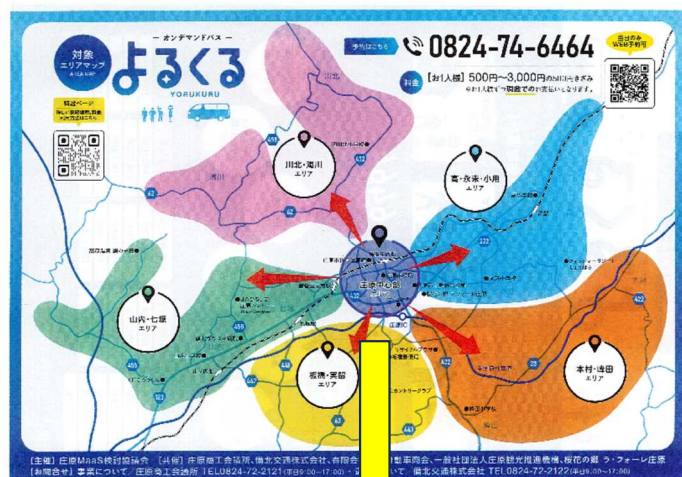
高・糸末・小用 方面	本村・峰田 方面	板倉・美濃 方面	川北・瀬川 方面	山内・七瀬 方面
9月19日①	9月20日①	9月26日①	9月27日①	10月3日①
10月4日②	10月10日②	10月11日②	10月17日②	10月18日②
10月24日③	10月25日③	10月31日③	11月1日③	11月7日③
11月8日④	11月14日④	11月15日④	11月21日④	11月22日④
11月28日⑤	11月29日⑤	12月5日⑤	12月8日⑤	12月12日⑤
12月13日⑥				

中心部から中心部は全ての運行日に利用可能です。
（※7日間は本村・峰田・川北・瀬川・山内・七瀬の順に運行します。）

運行便 [1便] 20:00発 [2便] 20:40発 [3便] 21:20発 [4便] 22:00発 [5便] 22:40発
※9月19日から12月13日までの中・金曜日の20:00発～22:40発の5便運行します。
※運行時間、乗車は乗車予約によって異なります。

・夜間オンデマンドバス「よるくる」の実証運行（2）

▶ 各方面運行イメージ（チラシ裏面）



▶ 市街地での乗降場所



◀ 報道関係資料 ▶



- YOL

読者新聞

オンライン

朝刊記事

紙面ビューアー

社説

English

🔍

?

三すべて | トップ

速報

社会

政治

経済

スポーツ

国際

地域

科学・IT

エンタメ・文化

ライフ

受験・就職

へ

■ 偏北交通 自家用車で有償 全国初



レンタカーに「有償運送車両」のステッカーを取り付ける
協議会のメンバー（庄原市で）

庄原市で夜間の移動手段を確保するため、予約制乗り合いバス運行の実証実験が１９日に始まる。偏北交通（本社・庄原市）が社有車とレンタカーの２台で取り組み、１２月１３日までの期間中、木、金曜日に走らせる。中国運輸局によると過疎地の交通網維持のため、バス事業者が自家用車で有償運送するのは全国初という。（元永達夫）

★庄原の夜間交通確保へ オンデマンドバス お試し運行

木金曜限定

庄原市中心部を午後8時以降に走らスクシが
なってきたを受け、木、金曜日の夜間に限定し
たオンデマンドバス「よるくる」の試験運行が19
日、同市内で始まる。移動・交通にたいして効率
的な交通サービスを目指す、「庄原MaaS検討協
議会」が企画した。

国の許認可を受け、12月1日より、期間中に各方面
月13日までの木、金曜日、それぞれ、6日走らせ
に計20日運行する。当日、中心部間の運行は26
午後8時8分40分、9時20分、10時40分、10時55分、
5便といずれも市中心部、員8人と6人、を使用。
発：高永末・小川二丁目、乗降：降り降りは路線バスの停
村・津田三橋・栗田・川留所など、197カ所に限
北・河内・山内・七塚の。利用5日前から予約
5方面別で運行日を決め、でき、当日も空きがあれば

市中心的街からの帰路想定

オンデマンドバスに使う車
両の前で、運行計画につい
て話すドライバー7人

希望者の利用申し込み前
受け付け。料金は距離に
に応じて500～3千円
乗客一人一バスと同じく
乗客一人一バスが決まら
れた額を現金支払う。
必要な許可を受けた、庄
原商工会議所や南北交通
などの人が担当する。
同日内では、5月下旬
から午後8時以降の夕ク
シーがなくなり、同協議
会によっても、飲食店や宿
泊客が市外に流出するな
ど影響が出始めている
という。自らもドライバ
ーを務める南北交通の山
根英徳会長(65)は「市中
心部が衰退しがねない。
各地域から集まって飲
食に出るか、かけもちし
ては」と期待する。
オンデマンドバスは、
過疎地域での自家用車、中
国運輸局広道運輸支局の
許可をとり、バスとして
運行の実施にこぎ着け
るべきと見られる。採算性
や利便性を確認し、持続
可能な後の交通手段を模
索していく。
予約は02-8204-7464
4月6日、4月11午前9時
午後5時、運行日は午
後10時まで。

県北

課題解決型実証実験を、以降「実装」につなげるためには…

▶ R6.10.23 (水) 中国新聞朝刊

県北

細る地域交通網 岐路に立つ庄原

27日投票の衆院選では少子高齢化が進む過疎地域の公共交通の在り方も問われる。庄原市では、一部区間の存廃について再構築協議会での議論が進む。JR芸備線に加え、生活バスの再編や市中心部で夜間休業状態のタクシーなど多くの課題を抱え、住民は論戦と国政の行方を注視する。

2024 衆院選

同市西城町の備後西城駅で夕方、三人行きの1両に西城紫水高の生徒が乗り込む。同高では全校生徒の約3割が芸備線で通学。1年生の女子は「卒業まで芸備線で通えるのかな」と話した。

再構築協が調査

高校生や高齢者の交通手段としてだけでなく観光面での期待も背負う芸備線。西城町観光協会の山口和男会長(63)は「(三人行)で暮らす以上、調めるわけにはいかない」と、駅舎内でのカフェや催しを企画し、路線維持へ利用者の底上げを目指す。

全国初の再構築協は3月に発足し、国や沿線自治体、JR西日本が備後

庄原・備中神代間(庄原市、新見市)の存廃を議論。原則3年以内に結論を出す方針で、芸備線の潜在需要などの調査を近く始める計画だ。

JR西によると区間別の輸送密度(1日当たり)の1日平均乗客数は、特定区間である庄原市の備後庄原・備後落合間など3区間で88〜20人(2023年度)。新型コロナウイルス禍前と比べ横ばいが増えたが、他路線と比べ依然少ない。山口会長は「鉄道がなくなれば、地域も廃れる」と胸の内を明かす。

庄原ではバスやタクシーも岐路に立つ。市が運営する「地域生活バス」は、利用が少なく8年ごろから市民タクシーへの転換が進む。不採算のため事業者が営業運行をやめた路線を市の補助で走らせる「廃止代替バス」も11路線(10月時点)を抱える。



備後西城駅で、三人行きの芸備線に乗り込む西城紫水高生たち

さらに市中心部では5月、午後8時以降のタクシーがなくなり、夜間の飲食店や救急搬送された医療機関から帰る手数が消えた。経済界を中心に9月から、木金曜日の夜間にオンデマンドバス「よるくる」の試験運行を始めたが、12月半ばまでの期間限定だ。

実情見て議論を

市内の飲食店主でつくる料飲同業組合の安部隆弘組合長(64)は「三三市へ飲食に出る客も増え始めた。このままでは、新

たに飲食店を始める人も出ないので」と市街地の空洞化を懸念する。人口減少や東京一極集中の是正を掲げる政府は「新しい地方経済・生活環境創生本部」を開設し、関連交付金の増額を表明。野党も公約で分権推進などによる「地方重視」を打ち出している。

庄原商工会議所の本平正宏専務理事(62)は「町のにぎわいを生むには交通網維持は不可欠。地域の実情を踏まえた議論を期待したい」と訴える。

三 次 支 局 0824(6)3155 FAX(6)0088
庄 原 支 局 0824(7)0149 FAX(7)0088
安芸高田支局 0826(4)0063 FAX(4)0088
東城ステーション 0844(2)0560

【政策(行動計画)立案のポイント】

課題・問題への「解決策」や「アプローチ」は、その地域ごとによって異なる。

「交通」に関しては、その地域の「地域公共交通計画」によって、住民による・住民のための施策実行を促す(実行していく)ための計画とすべき。

運行状況や、利用者・運行側からの声に「**適時対応**」していくには…

▶ 利用方法の変更

運行予約を「5日前から、全方面への利用予約」を可能とした。

▶ 利用促進へのアプローチ

当初は「デマンドバス」の運行や、夜間の交通課題への取り組み自体についてが目立つ構成となっていたが、改訂版のチラシでは「デマンドバス」の活用方法や「安心して帰ることができる」ことに対する訴求力を強めたPRとした。



運行経路や利用客対応におけるイレギュラー対応がどうしても発生するため、**現場判断**が重要なポイントとなる。

※安全運行の担保と、利用客の利便性向上の両立

全エリアで事前予約できるようになり、さらに便利になりました！

よるくるに **帰りはまかせんさい！**

— オンデマンドバス —
よるくる
YORUKURU

【中心部からの帰りに！】
忘年会のあと
家まで帰りたい…
誰のお迎え
今日は行けない…
よるくるに助けを！

【ゆるぎないエリアの移動に！】
2次会への
移動も…
よるくるへまかせ！

実施期間 2024年12月13日〇までの木曜・金曜

運行時間 20:00～22:40発まで ※運行経路、発着、乗降は予約によって変動します。

ステップ 01 ご希望の乗降場所、乗車時間を予約
●名目
●人数
●乗降場所
●何時ごろ

ステップ 02 指定の乗降場所へ乗車

ステップ 03 指定の乗降場所へ乗車

予約はこちら **0824-74-6464** Webでも5分前からOK

【予約】利用5日前より 9:00～17:00
【運行】発着日は22:00まで、乗降は乗降時刻の40分前まで予約可
予約状況によってはご利用いただけない場合がございますのでご了承ください。

庄原MaaS検討協議会・共創プロジェクトプラットフォーム 【庄原編】 ナイトタイム・デマンドプロジェクト

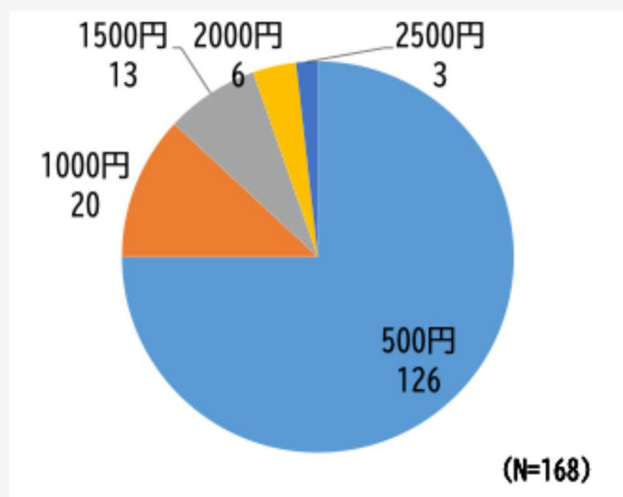
オンデマンドバス「よるくる」の運行実績について

▶ 運行実績について

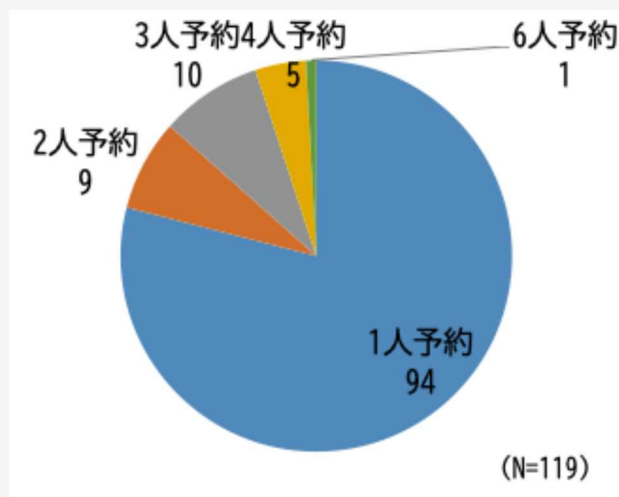
《 今回の報告対象となる運行日：R6.9.19（木）～R6.12.13（金）迄の 26日間 》

- ▶ 利用客数①（合計人数）： **168名 乗車** ▶ 利用客数②（1日平均）： **6.5名** ▶ 稼働回数： **118**
- ▶ 運賃収入①（合計金額）： **121,250円** ▶ 運賃収入②（1日平均）： **4,660円** ▶ 運賃収入③（1人平均）： **720円**

▼ 運賃別利用者数



▼ 1 予約あたりの予約人数



全エリアで事前予約できるようになり、さらに便利になりました！

帰りはまかせんさい！

よるくる YORUKURU

実施期間 2024年12月13日までの木曜・金曜

運行時間 20:00~22:40まで ※運行開始、最終、乗降により予約が必要となります。

予約はこころ 0824-74-6464

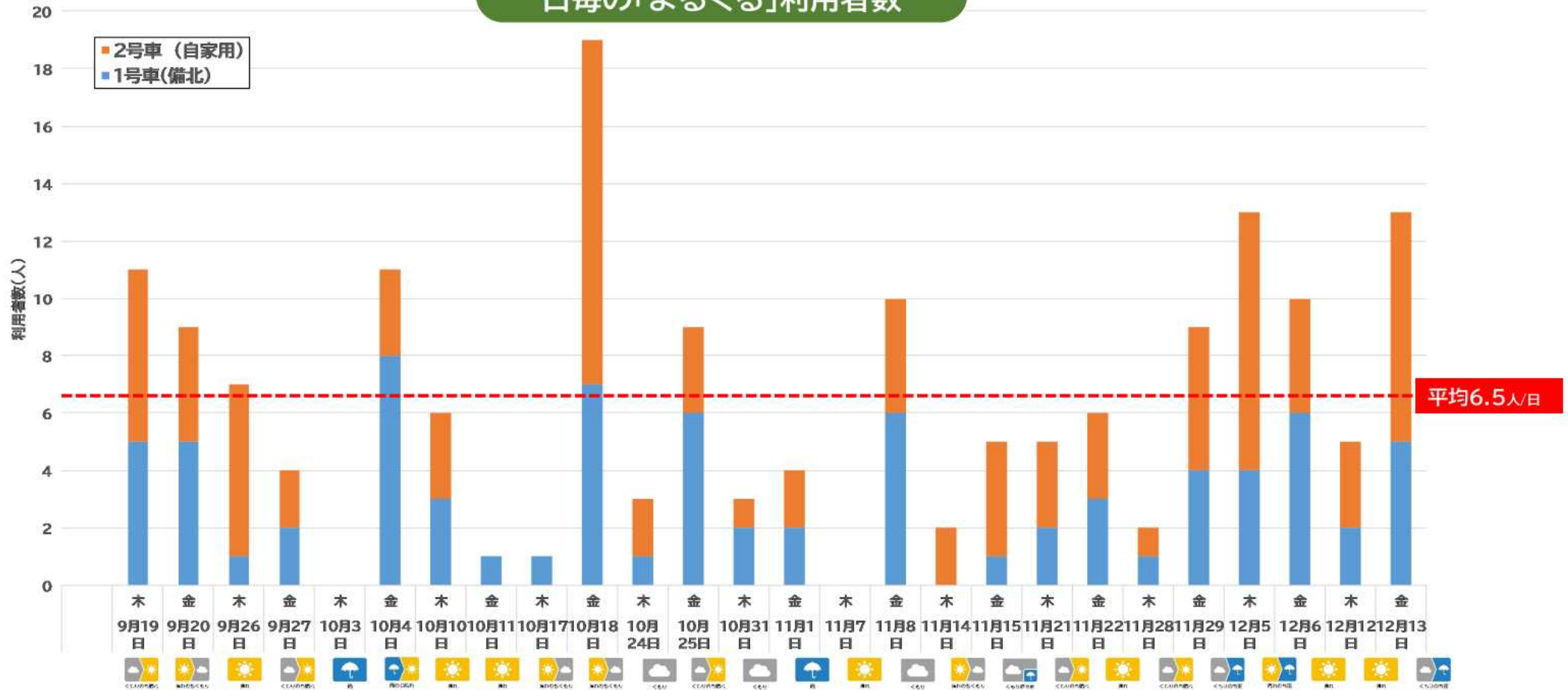
01 ご希望の乗降場所、乗降時刻を予約
02 指定の乗降場所へ乗降
03 指定の乗降場所へ乗降

※MaaS利用料は乗車料に含みます。乗車料は乗車時にお支払いください。乗車料は乗車時にお支払いください。

庄原MaaS検討委員会 共同プロジェクトプラットフォーム (庄原) ナイトタイム・デマンドプロジェクト

期間平均で6.5人/日が利用。
休日前の金曜日が利用が多い傾向。天候との相関は認められない。

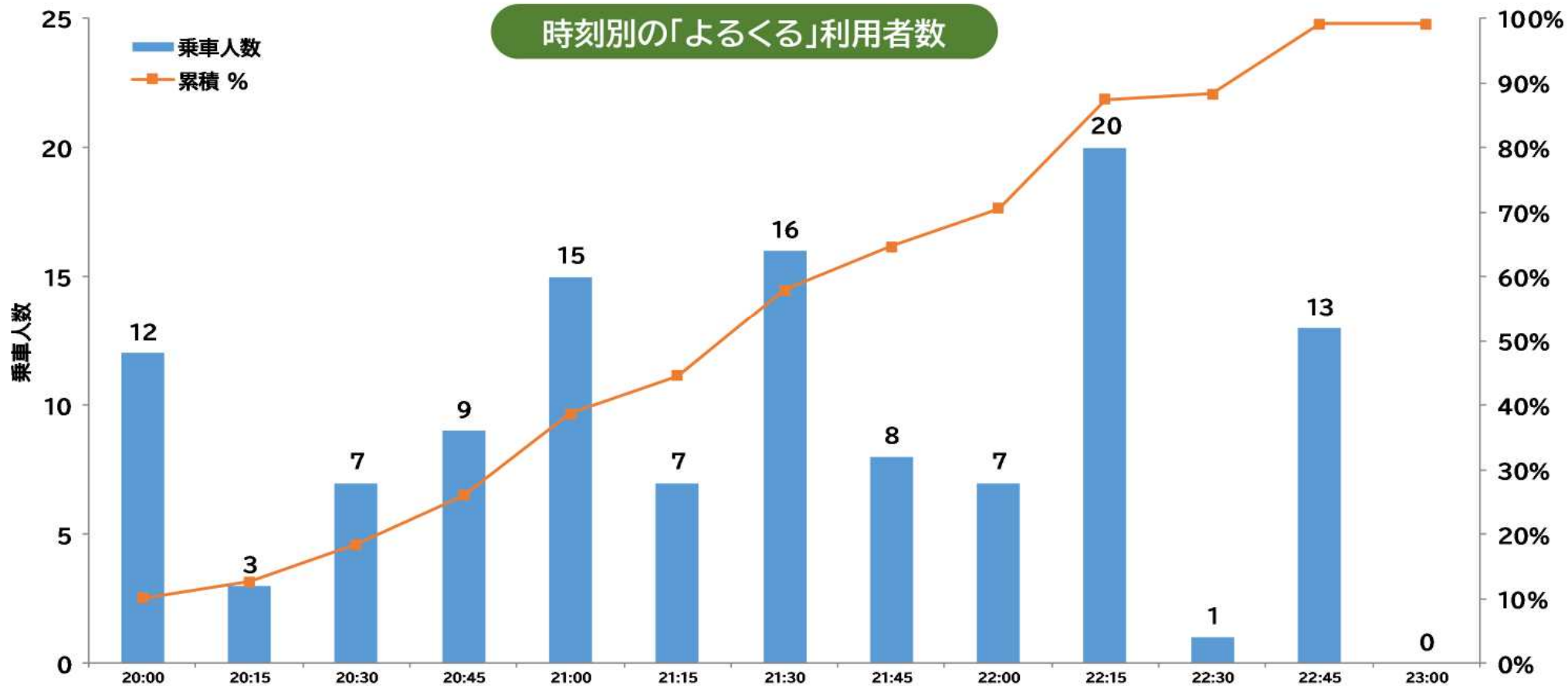
日毎の「よるくる」利用者数



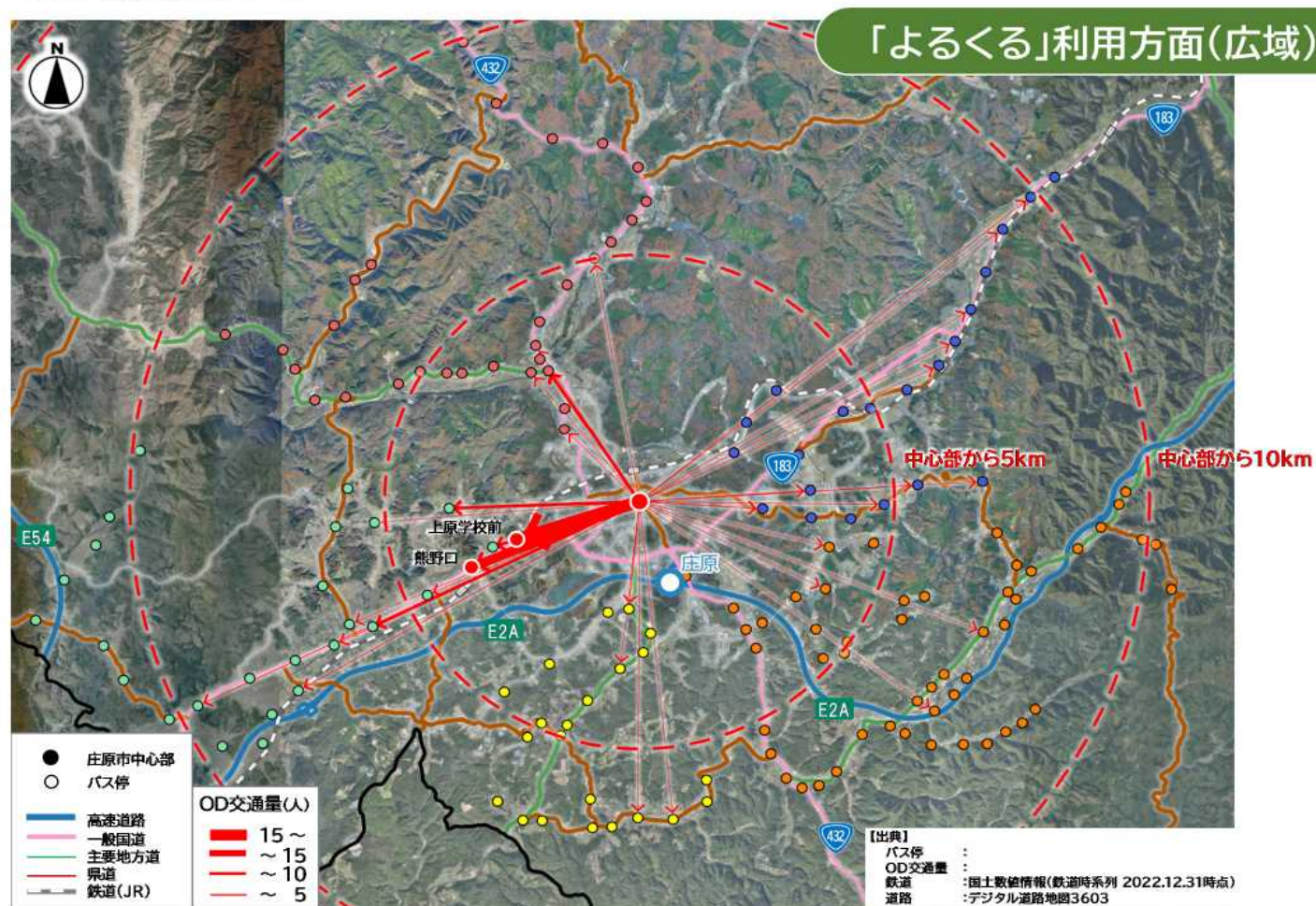
出発時刻の最頻値は「22:00～22:15」。
 今回の実証期間では、特定の時刻帯への集中は見られない。



時刻別の「よるくる」利用者数



広域利用は全て市中心部から郊外に向かう方向。
一部、リピートと思われる利用が発生。



中心部での利用は方向が四方八方に展開。

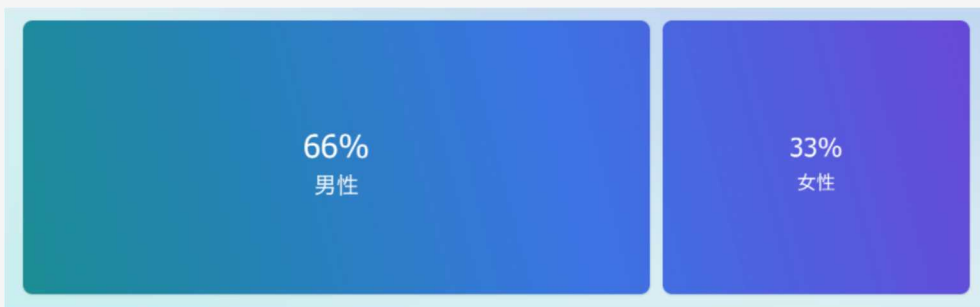
飲食後や仕事終了後の帰宅、市外からの来訪者のホテル(ラフォーレ)戻りと思われる利用も発生。





ナイトタイムデマンド「よるくる」利用者アンケート①（n = 68）

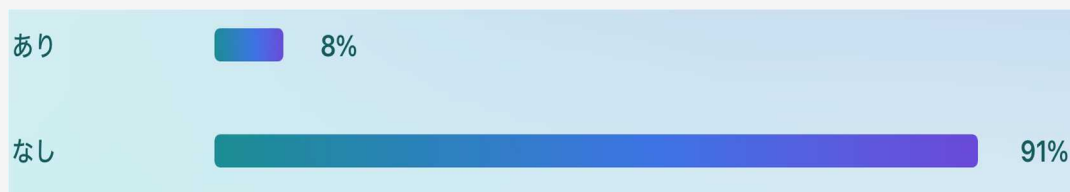
▶ 利用者属性



▶ 移動全体の出発地



▶ 公共交通との乗り継ぎ利用



ナイトタイムデマンド「よるくる」利用者アンケート②（n = 68）

▶ 外出パターン

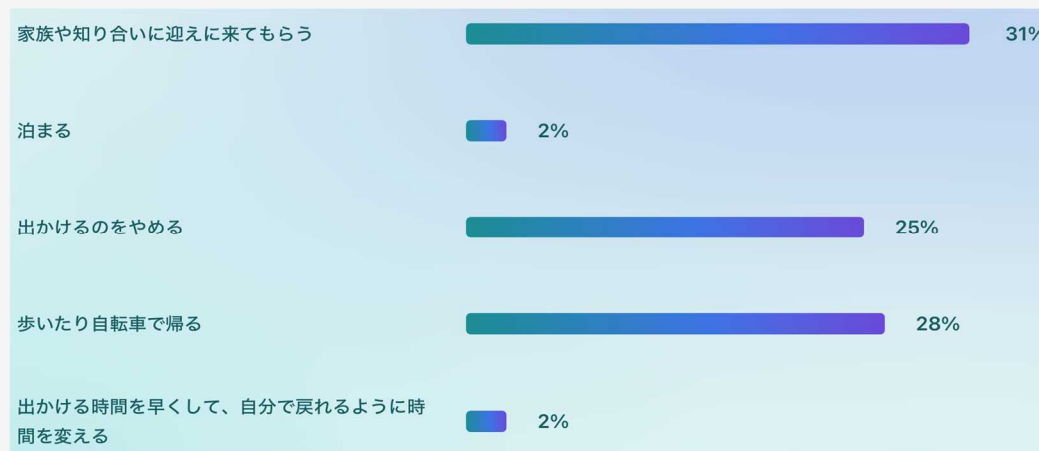


▶ 移動の目的は？

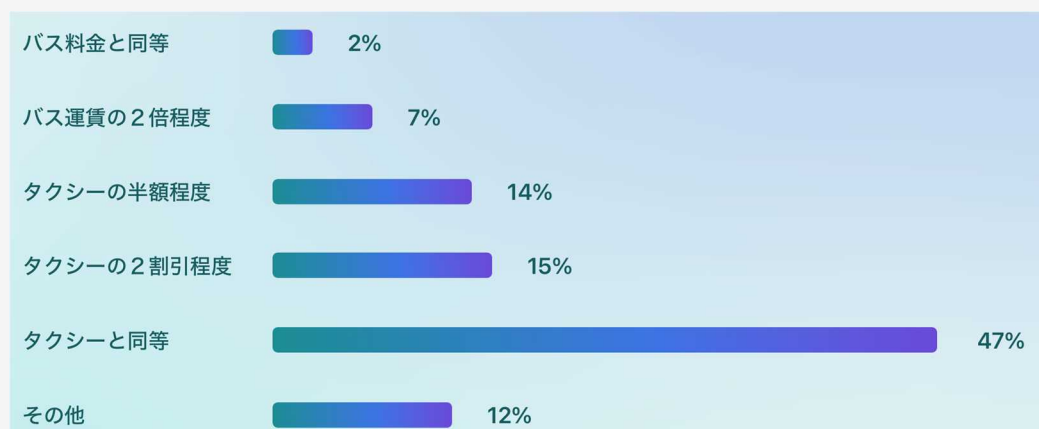


ナイトタイムデマンド「よるくる」利用者アンケート③（n = 68）

▶「よるくる」が
なかったら…



▶ 適正と感じる
運賃金額は？



ナイトタイムデマンド「よるくる」利用者アンケート④（n = 68）

▶ 満足度：平均 4.5



▶ 利用者のコメント

- この事業はみんな助かるだろうと思います。もっとたくさんの人に知ってもらいたい。
- 市民全員（多くの年齢層の方、多種の業者）で考え協力することが必要かと思います。
- 自宅が国道近くにはない人は使えないので、自宅近くまで送ってもらえたらいいと思います。
- 庄原市内だけでなく東城や新見くらいまで行かれると列車の心配がなくていいと思います。
- 良い試みなので、頑張ってください。
- 庄原駅の発着場を待合室の近くのほうがよい。特に冬は外で待つと寒い。
- 課題解決に向けた取り組みに、敬意と感謝を表します。
- 田舎では、高齢者も車を運転せざるを得ないが、ライドシェア的な送迎があれば免許返納も進み、事故が減少する。
- 法規制がある中でできないではなく、なんとかやってみるという姿にすごいと思っています。頑張ってください。
- 登録にハードルがあります。一度使ってしまうとハードルは下がります。例えば「タクシーGO」のように初回500円無料にするなど登録を後押しするようなやり方はいかがでしょうか？
- 庄原市の課題に対し、できることから行動に移されていることに対し、非常に共感します。周囲の理解が得られないと難しい場面もありますが、自分もできる限りそうありたいと思います。

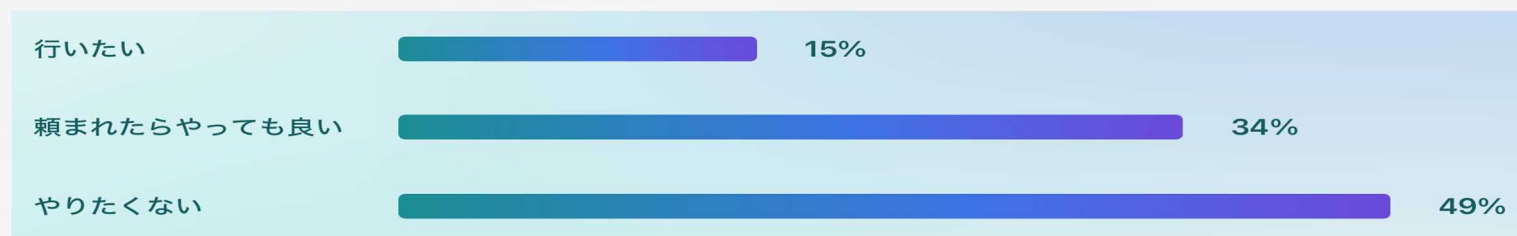
ナイトタイムデマンド「よるくる」利用者アンケート⑤（n = 68）

▶利用者のコメント（続き）

- 市の課題に対し、できることから行動に移されていることに対し、非常に共感します。周囲の理解が得られないと難しい場面もありますが、自分もできる限りそうありたいと思います。
- 「よるくる」があったので久々に飲みに出れました。ありがとうございました。
- 街を元気にしたいです！
- 夜の移動手段、大切です。
- 一人でも多くの市民に関心を持ってもらいたい。
- 「よるくる」があるから気楽に参加できる会合がいくつかあります。本当に助かってます。
- 乗降場所の自由度がないのが残念でした
- でも利用してみて「ありがたい」と思いました。
- 夜遅くに、このような取組みを地域の為に実施して頂きありがとうございます。
- 是非、継続してほしいです。あれば利用し続けます。
- タクシーがないのは本当に困っています。
- 現在、夜間にタクシーがないことで体調不良や急用などがあった際に、どうすれば良いかと不安に感じています。安心して暮らせる町づくりにご尽力いただきたいと思います。飲みニケーションが取りづらくなり、飲食店への影響も大きいかと思っています。

ナイトタイムデマンド「よるくる」利用者アンケート⑥（n = 68）

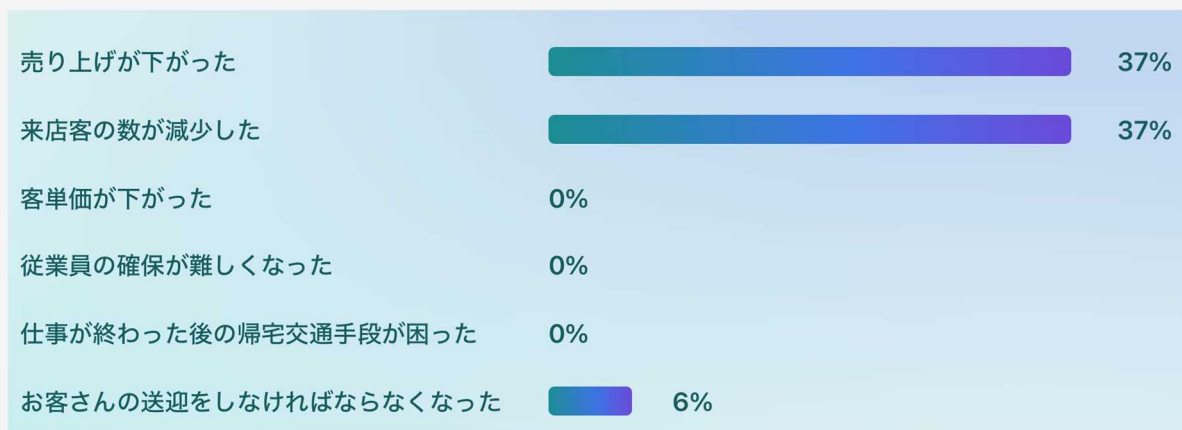
▶「ライドシェア」の様なドライバーをやってみたいか？



《商工会議所会員の飲食事業者へアンケートを実施》（2024年12月配布）

※無記名。夜の時間帯に営業しない店舗も回答に含む（n = 22）

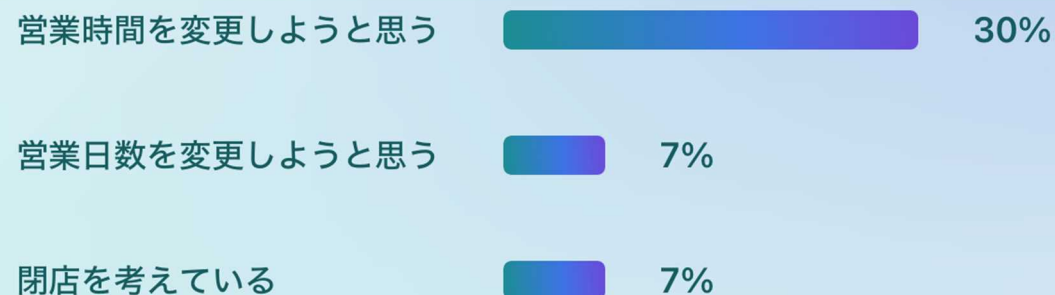
▶ 夜間のタクシー運行が休止となったことでの影響は？



ナイトタイムデマンド「よるくる」飲食事業者向けアンケート（n = 22）



▶ 今後の事業見通しは？



▶ この問題に どのように対応したか？



お客様のご予約時に、タクシーの夜間運行休止を伝えることを毎回行なった 等

ナイトタイムデマンド「よるくる」飲食事業者向けアンケート（n = 22）



▶ 夜間のタクシーの必要性は？



▶ 自由意見・夜間交通の確保のアイデア

- ・せめて夜間24:00までタクシーがあると、お客様も安心してどちらのお店へも出歩くことができるかと思います。1週間、どの曜日も 夜間のタクシーを常時置くことが難しいのであれば、週末にかけて木・金・土曜日だけでも、タクシー会社が、会社の枠を超えて、タクシーの台数を揃えてもらえると助かります。
- ・庄原市による補助事業
- ・ライドシェアの導入(タクシーの営業終了後)
- ・ライドシェアが認められるなら、大学生で車を持っている方がたくさんいる（いいバイトになる）ので、ドライバーはいくらでも見つかると思うんですが…
- ・「よるくる」みたいな事前予約して指定された場所にしか乗車下車できないのは、始まる前から成功しないと思っていました。お客の需要は、予約せず降りたい場所に降りれるのが最適解になるので、お金をかけるなら、運転手がない場合は、ライドシェアのタクシーへの支援、又は、タクシー会社に存続金として運用し営業できるのがいい（夜営業）。
- ・無駄に新しい取り組みをしようとする 形ばかりで経費ばかりかかり、最初は目新しさでいいが長期存続は無理、現状ある形から模索する方が良いと思う。
- ・予約制にしたり、飲食店同士で 時間制のアイデアを出して 夜のタクシーを確保できるようにしてみるのはいかがでしょうか。
(当店はお昼の営業のみなので直接の影響はありませんが、必要だとは感じております。)
- ・受益者（店舗）負担は利益が薄い中、負担なんて無理です。